

シンポジウムのご案内  
歴史を活かしたまちづくり  
旧住友銀行熊本支店社屋の復活劇

昨年 1 月に三井住友銀行熊本支店社屋が支店機能の移転にともない空き店舗になりました。その後三井住友銀行のはからいで地域住民に長く親しまれたこの建物を使い続ける買取り手を捜していただきました。熊本の近代史を物語る生きた文化遺産の継承を可能にさせていただいた同銀行と買取られたカーリーノグループに敬意を表します。

そこで、このシンポジウムでは、この近代化遺産の価値をひも解くと共に、再生のビジョンを語り合うことにいたしました。この建物は平成 28 年熊本地震ではほとんど被害を受けませんでした。この建物の再生が被災した多くの文化遺産の関係者を大いに勇気づけるものと思われまます。

日時 2019（令和元）年 5 月 18 日（土） 15:00—17:00

場所 カーリーノ魚屋町ビル（旧住友銀行熊本支店社屋） 熊本市中央区魚屋町 2 丁目  
★裏面に案内地図があります

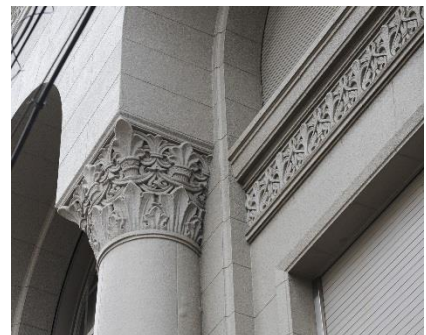
※入場無料

※お申込みは、熊本まちなみトラスト（下記電話、FAX、メール）まで

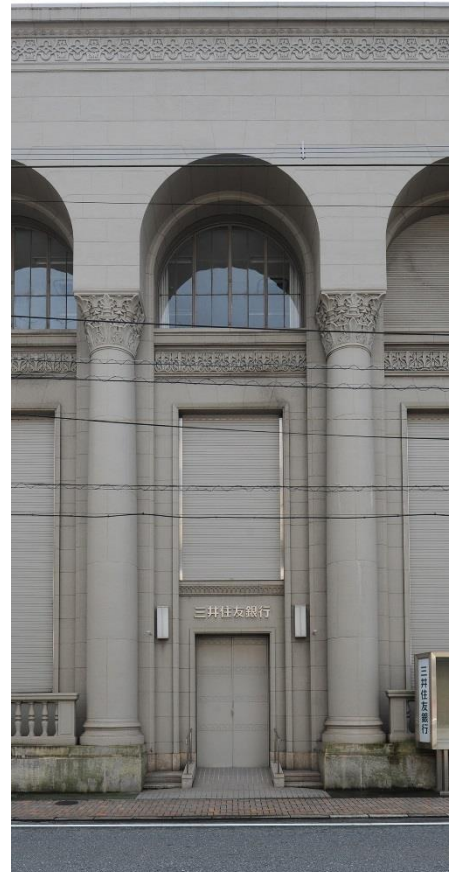
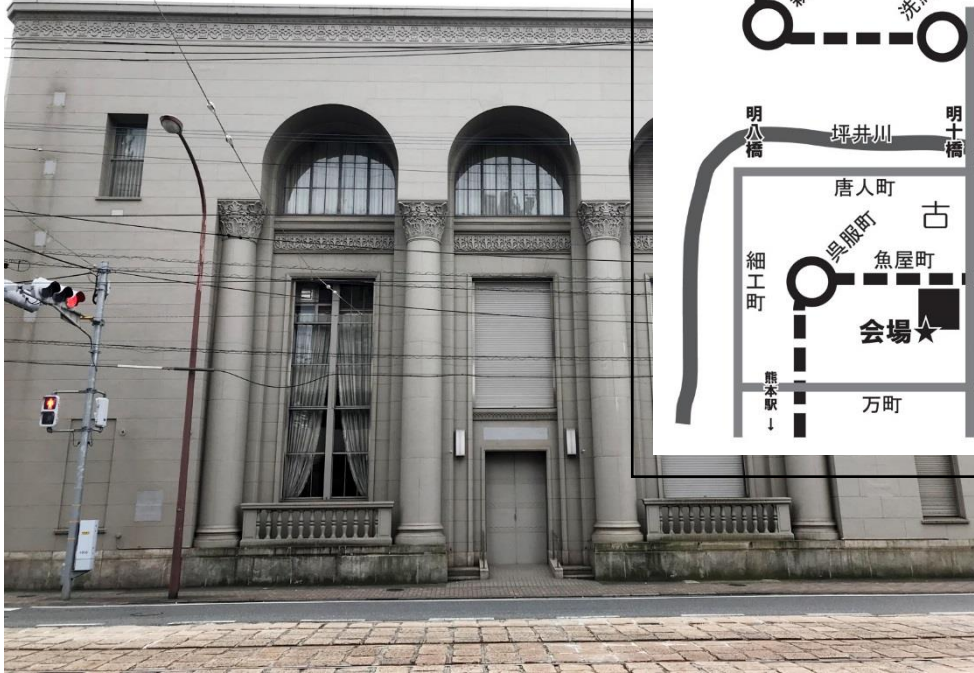
### プログラム

- |                                     |                           |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1 基調講演 旧住友銀行熊本支店の建築的価値              | 伊藤重剛（熊本大学名誉教授）            |
| 2 事例発表 大分銀行赤レンガ館の場合<br>旧第一銀行熊本支店の場合 | 三代吉彦（大分銀行）<br>平山武久（株PS社長） |
| 3 新所有者の思い                           | 田中達俊（カーリーノ本部開発部長）         |
| 4 意見交換コーディネーター                      | 竹田宏司（KMT 副理事長）            |
| 5 まとめ                               |                           |

主催 NPO 法人熊本まちなみトラスト（略称KMT）  
後援 五福校区自治協議会／一新校区自治協議会  
くまもと新町古町復興プロジェクト  
日本建築学会九州支部歴史意匠委員会（申請中）  
被災文化遺産所有者等連絡協議会  
熊本市現代美術館



シャッターが開きました



旧住友銀行熊本支店社屋  
1934(昭和9年) / 今年85歳 鉄筋コンクリート造3階建  
設計:長谷部・竹腰建築事務所(現日建設計)  
施工:大倉土木(現大成建設)